

放射線量の不安が広がるなか市は市民の不安を取り除く努力をしているのか？

この問題に対する市の姿勢が問われている

福島第一原子力発電所の事故により、利根沼田地域の放射線量が高くなり、保育園や幼稚園、小学校などでも高い放射線量が測定されていることから、大きな不安が広がっています。

12日開かれた民生福祉委員協議会で、市では、放射線量を測定する器械を1台購入し、どのように活用するかはこれから検討するとの報告がされました。

「これでは、市民の不安を取り除くことはできない。市の姿勢が問われている。」「これでは、何もしないのと同じではないか」といったような意見が、議員から出されました。



いのちのえほん展25日まで白沢町公民館で開催 120点が展示されています

土屋文明記念文学館の巡回展示として、「いのちのえほん展」が、25日まで白沢町公民館3階展示室でおこなわれています。(入場無料)



2001年におこなわれた「第16回国民文化祭」で制作された、県内の盲・聾・養護学校の子どもたちが描いた絵に、永六輔、水上勉、宮川ひろ、松谷みよ子さんなど著名人が、詩やエッセイを寄せたパネル展です。(9時~16時 土・日・祝日は休み)

日本共産党 東日本大震災ボランティア報告会

東日本大震災のボランティアに参加した、議員などの報告会が9日、前橋市でおこなわれました。

被災地の様子やボランティア活動の内容について、7人から報告がされました。



核兵器の廃絶と原発からの撤退を求めて 国民平和大行進がおこなわれました

核兵器の廃絶と原発からの撤退を求め、「2011国民平和大行進」が13日、沼田市役所から渋川市役所までおこなわれました。



市役所での出発式には、星野市長と大島議長が激励の挨拶をおこないました。

10日には、利根郡内の町村から沼田公園までの、「網の目行進」もおこなわれました。

東日本大震災への救援募金にご協力ください

大東議員が下記のところへご連絡ください。

連絡先 日本共産党利根沼田地区委員会
電話 23-1519

2011年7月17日

NO. 264

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



3月11日の原発事故を期に、利益優先にこれまでの原発推進の姿勢を電力会社も財界も少しは反省してもよさそうなのですが、米倉会長の発言からは反省のかけらも見えず、「日本から出て行くぞ」「政府や国民を脅すような態度では、情けない限りです。」

こんいちには 経団連の米倉弘昌会長は、11日の記者会見で机をたたき「ストレステスト(耐性試験)」の実施などで定期点検中の原発の稼働の時期が遅れることに、「電力の安定供給」がなければ「日本企業は、海外へ移転してしまう」とのべ、原発を再稼働しなければ、大企業は日本から出て行くぞと、脅しのような発言をしました。

米倉会長は、原発事故の賠償問題で、「東電の免責は当然」と言い放ち、東海地震の震源地に立つ浜岡原発の停止要請にも「唐突だ」と、なりふり構わず原発を擁護し、自然エネルギーを増やすことには、「電力価格の上昇をもたらす」と敵視しています。

こんいちには 大東のぶゆき です

平川不動の滝 額 奉納した

平川不動の滝は、落差が30m以上あり、間近で滝を見上げると首が痛くなるほどです。

水量は控えめですが、霧状の飛沫はこの季節には気持ちよく、まわりの岩壁を落ちる滝は、堂々としています。

平川古滝庵不動尊に奉納された額は、文政13年(1830)に追貝に道場を開いていた星野房吉が門人たちにたのまれて奉納したものです。

額の書は、ケヤキの一枚板で、利根の三大書家の一人、片品村の萩原賢和(藤賢和)が書いたもので、大中小の木刀が掲げられ、144人の門人の名前などが書かれています。

天保2年(1831)に、園原の剣士、中川伊之助が房吉の名声を妬み、江戸から師匠の山崎孫七郎を呼び寄せ、謀殺してしまいました。(園原騒動)



不動の滝



星野房吉が奉納した額